



第39回日本環境感染学会総会・学術集会

教育委員会企画



アウトブレイクは現場で起こっている! 2024

現地参加の方へお願い

～Votingシステムを使用して投票いただきます～

- ① ご自身のスマートフォンから、QRコードにアクセスしてください。



- ② Votingが開始されるとスマートフォン上に設問と選択肢が表示されます。

配布資料1

MK病院NICUの月別新規MRSA検出患者数
(2018年1月~2019年8月12日)

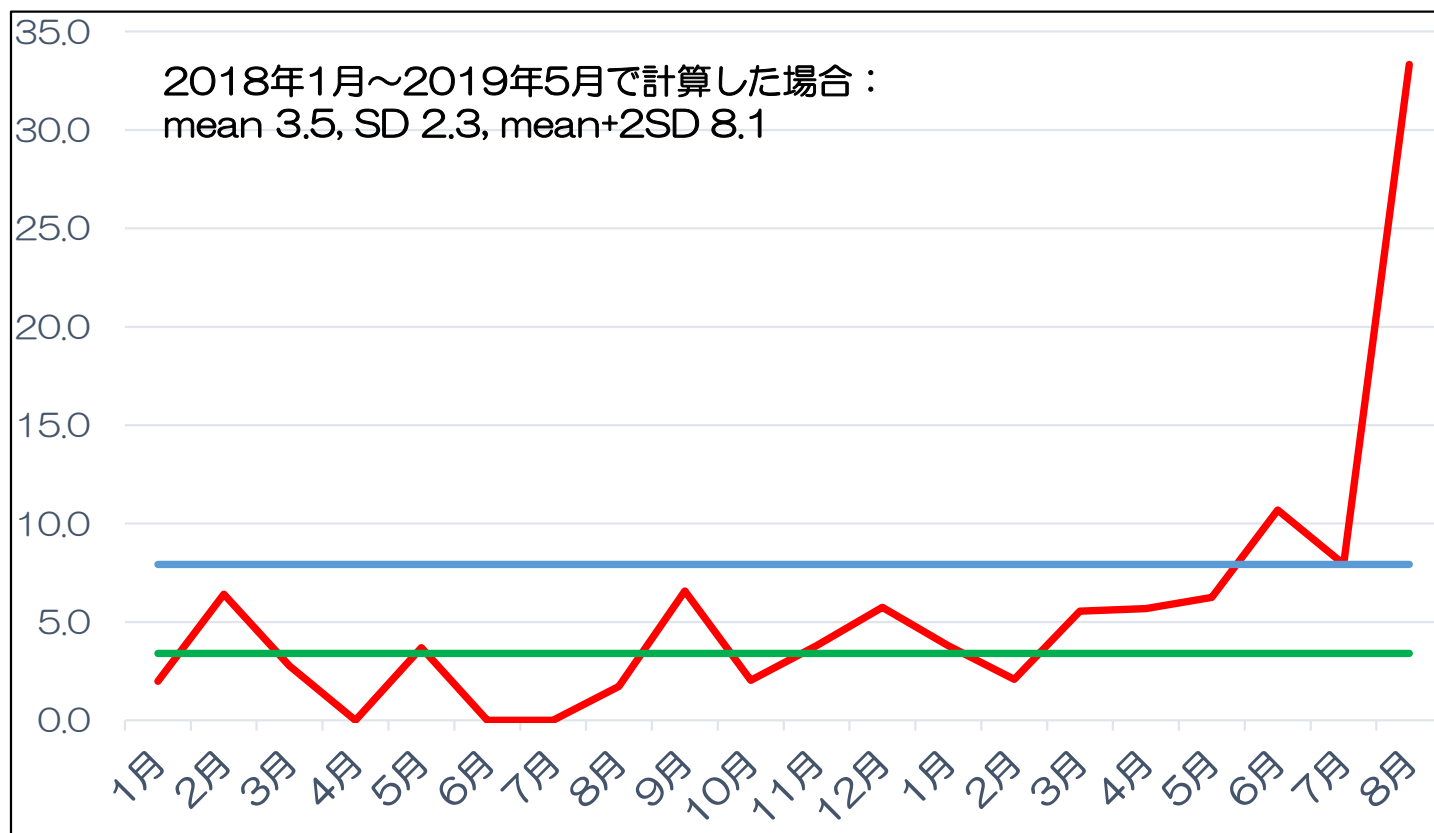
	2018年												2019年							
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
(人)検出人数	1	3	1	0	2	0	0	1	3	1	2	2	2	1	2	3	3	5	4	6

配布資料2

MK病院NICUのMRSAの発生密度（率）（2018年1月～2019年8月12日）

月	2018年												2019年							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
発生密度（率）	2.0	6.4	2.8	0.0	3.7	0.0	0.0	1.7	6.6	2.0	3.8	5.7	3.8	2.1	5.6	5.7	6.3	10.7	7.9	33.3

発生密度（率）=新規MRSA検出患者数÷NICU延べ入院患者数×1000



MK病院NICUのMRSAの発生密度（率）

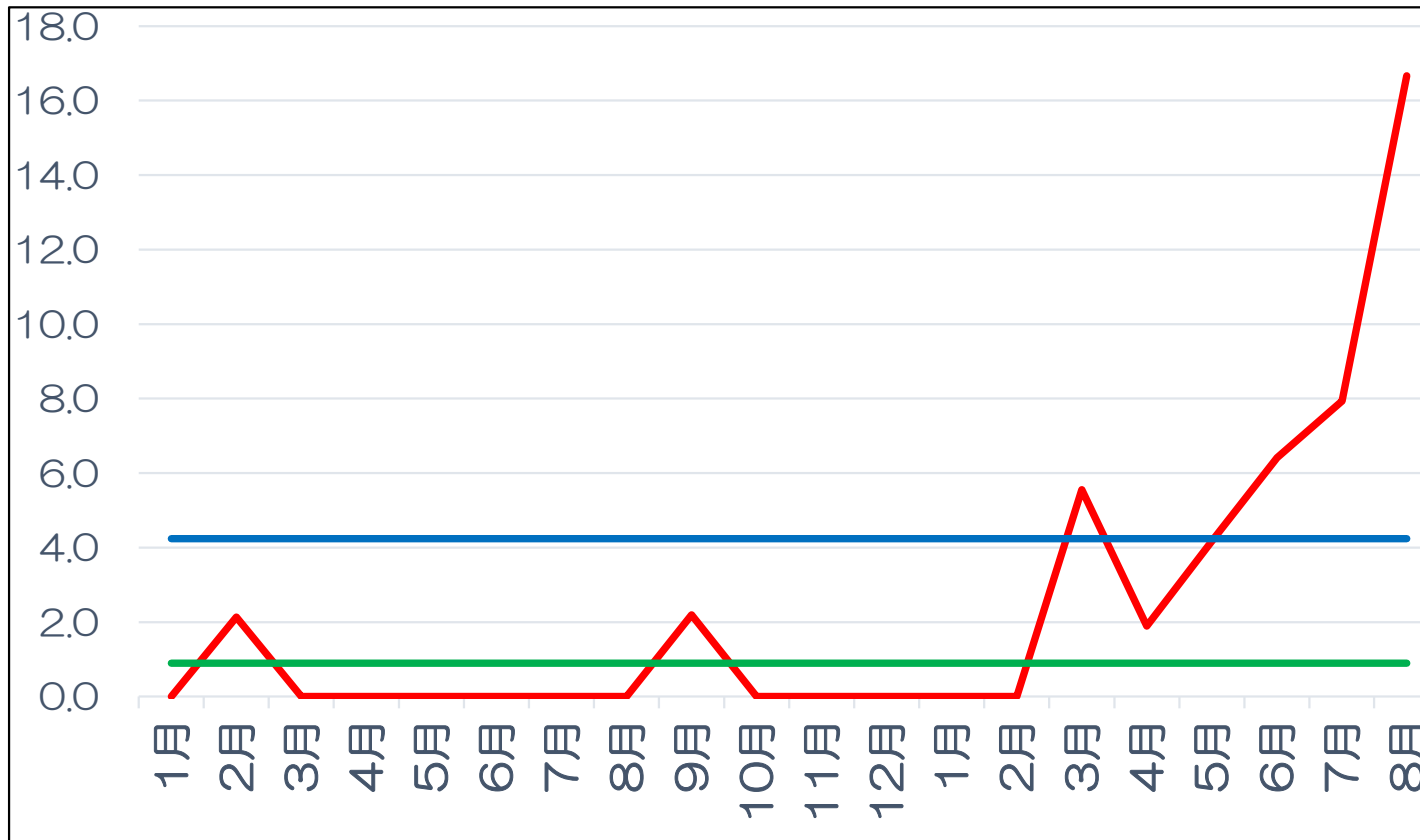
MK病院NICUのMRSA検出患者一覧（薬剤感受性付き）

配布資料3

MRSA検出日	薬剤感受性パターン	EM	CLDM	TC	GM	FOM	LVFX	検出部位
2018/1/17	A	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2018/2/1	B	S	S	R	R	R	S	鼻腔
2018/2/7	C	R	R	R	R	S	R	鼻腔
2018/2/8	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2018/2/22	C	R	R	R	R	S	R	鼻腔
2018/3/6	A	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2018/5/15	C	R	R	R	R	S	R	鼻腔
2018/5/22	A	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2018/8/21	E	R	R	S	S	R	R	鼻腔
2018/9/11	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2018/9/18	F	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2018/9/25	B	S	S	R	R	R	S	鼻腔
2018/10/16	C	R	R	R	R	S	R	鼻腔
2018/11/13	E	R	R	S	S	R	R	鼻腔
2018/11/27	B	S	S	R	R	R	S	鼻腔
2018/12/18	A	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2018/12/25	B	S	S	R	R	R	S	鼻腔
2019/1/15	A	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2019/1/29	F	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2019/2/12	E	R	R	S	S	R	R	鼻腔
2019/3/5	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/3/12	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/4/16	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/4/23	B	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2019/4/23	A	S	S	R	R	R	S	鼻腔
2019/5/7	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/5/14	C	R	R	R	R	S	R	鼻腔
2019/5/21	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/6/4	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/6/11	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/6/11	A	R	R	R	R	R	R	鼻腔
2019/6/18	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/6/25	G	S	S	S	S	S	S	鼻腔
2019/7/9	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/7/16	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/7/23	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/7/30	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/8/6	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/8/6	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/8/13	D	S	R	S	R	S	S	鼻腔
2019/8/13	G	S	S	S	S	S	S	鼻腔
2019/8/13	G	S	S	S	S	S	S	鼻腔
2019/8/13	G	S	S	S	S	S	S	鼻腔

配布資料4

薬剤感受性パターンDのMRSAの発生密度（率）



2018年1月～2019年5月で計算した場合：mean 1.0, SD 1.6, mean+2SD 4.2

配布資料5

MK病院NICUの監視培養による薬剤感受性パターンDを示す新規MRSA検出患者 ラインリスト（2019年3月～8月）

症例	性別	入院日	病名	出生体重(g)	在胎週数(週)	A S	MRSA検出	検出部位	ベット No	保育器	挿管	加湿器	気管内吸引	保清	経鼻胃管	主治医	抗 菌 薬	看護 チ ーム
case-1	M	1月5日	早産・極低	1250	30	6	3月5日	鼻腔	R1	あり	あり	なし	あり	清拭	あり	Ku	あり	A
case-2	F	2月9日	早産・極低	1460	29	7	3月12日	鼻腔	R1	あり	あり	なし	あり	清拭	なし	Ki	なし	B
case-3	F	4月1日	早産・極低	1394	32	5	4月16日	鼻腔	R1	あり	あり	あり	あり	清拭	あり	Ta	あり	B
case-4	F	4月21日	早産・極低	1302	33	5	5月7日	鼻腔	R1	あり	なし	なし	なし	清拭	あり	Ko	なし	A
case-5	F	5月5日	早産・低生	1800	35	8	5月21日	鼻腔	N1	なし	なし	なし	なし	清拭	あり	Ta	あり	A
case-6	F	5月21日	早産・低生	2058	33	6	6月4日	鼻腔	N1	なし	なし	なし	なし	沐浴	あり	Ko	なし	C
case-7	F	5月12日	早産・低生	1900	35	7	6月11日	鼻腔	N2	なし	なし	なし	なし	沐浴	あり	Ki	なし	A
case-8	M	5月15日	早産・極低	1322	28	4	6月18日	鼻腔	R1	あり	なし	なし	なし	沐浴	あり	Ku	なし	A
case-9	F	6月24日	先天性水頭症	2000	36	7	7月9日	鼻腔	R1	あり	なし	なし	なし	沐浴	あり	Ki	あり	C
case-10	F	6月1日	早産・低生	1750	33	6	7月16日	鼻腔	N3	あり	あり	なし	あり	沐浴	あり	Ki	なし	A
case-11	F	7月1日	早産・低生	1670	34	5	7月23日	鼻腔	R1	あり	なし	なし	なし	清拭	あり	Ko	なし	B
case-12	F	6月24日	早産・低生	2130	29	5	7月30日	鼻腔	R1	あり	なし	なし	なし	清拭	あり	Ko	なし	A
case-13	F	7月12日	早産・低生	1600	31	5	8月6日	鼻腔	R1	あり	なし	なし	なし	清拭	あり	Ko	なし	A
case-14	F	7月19日	早産・低生	2213	32	5	8月6日	鼻腔	R1	あり	なし	なし	なし	清拭	あり	Ko	なし	C
case-15	F	7月24日	先天性水頭症	2000	30	4	8月13日	鼻腔	R1	あり	なし	なし	なし	清拭	あり	Ko	なし	B

配布資料6

(記述統計結果)

比率尺度	変数名		症例
	出生体重 (g)	平均	1723.3
		中央値	1750
		25パーセンタイル値	1427
		75パーセンタイル値	2000
		標準偏差	312.7
		最大値	2213
		最小値	1250
		在胎週数 (週)	平均
	中央値		32
	25パーセンタイル値		30
	75パーセンタイル値		33.5
	標準偏差		2.4
	最大値		36
	最小値		28
	Apgar score		平均
		中央値	5
		25パーセンタイル値	5
		75パーセンタイル値	6.5
		標準偏差	1.1
		最大値	8
		最小値	4

尺度種別	変数名	コード	症例	割合
名義尺度	性別	1 (男性)	2	13.3 %
		2 (女性)	13	86.7 %
	ベッド	1 (N1)	2	13.3 %
		2 (N2)	1	6.7 %
		3 (N3)	1	6.7 %
		4 (R1)	11	73.3 %
		5 (R2)	0	0.0 %
	保育器	0 (なし)	3	20.0 %
		1 (あり)	12	80.0 %
	挿管	0 (なし)	11	73.3 %
		1 (あり)	4	26.7 %
	加湿器	0 (なし)	14	93.3 %
		1 (あり)	1	6.7 %
	気管内吸引	0 (なし)	11	73.3 %
		1 (あり)	4	26.7 %
	保清	1 (清拭)	10	66.7 %
		2 (沐浴)	5	33.3 %
	経鼻胃管	0 (なし)	1	6.7 %
		1 (あり)	14	93.3 %
	主治医	1 (Ku)	2	13.3%
		2 (Ta)	2	13.3%
		3 (Ki)	4	26.7 %
		4 (Ko)	7	46.7%
	抗菌薬	0 (なし)	11	73.3 %
		1 (あり)	4	26.7 %
	担当チーム	1 (A)	8	53.3 %
		2 (B)	4	26.7 %
		3 (C)	3	20.0 %